

## V 流通・販売

### 農畜水産物の海外輸出

本格的な人口減少社会を迎え、将来的に国内マーケットの縮小が見込まれる一方、海外では訪日客や富裕層の増加を背景に日本食ブームが広がり、魅力的な市場が形成されています。

県では、岐阜県農林水産物輸出促進協議会(構成：11団体、事務局：J A全農岐阜)や県内の地域商社等と連携し、県産農畜水産物の認知度向上や輸出拡大につながる海外戦略を展開しています。

#### ○主な取組内容

##### <輸出に取り組む生産者支援>

- ・生産者の相談から流通ルートの構築、販路開拓までを担う地域商社を育成する事業を令和7年度から開始しました。地域商社として2社を選定し、香港・台湾への輸出拡大に取り組んでいます。
- ・令和7年度は、昨年に続き台湾の「FOOD TAIPEI 2025」に岐阜県ブースを出展し、県内9事業者の食材のPRや商談を実施するとともに、地域商社によるフォローアップを行いました。
- ・輸出先国が求める園地登録や残留農薬検査などの生産面の対策から、現地語パンフレットの作成や商談会出展などの販売対策まで、生産者の取組を総合的に支援しました。
- ・SNS等でライブ配信しながら商品を販売する「ライブコマース」を県として初めて実施し、15事業者の県産食材をシンガポールの消費者にPRしました。

##### <情報発信拠点の拡大・連携>

- ・「飛騨牛海外推奨店」や「岐阜鮎海外推奨店」など、岐阜県の情報発信拠点を拡大するとともに、これらの拠点と連携したプロモーションを実施しています。
- ・令和7年度は、「岐阜鮎海外推奨店」をタイで新たに4店舗、ベトナムで初めて7店舗認定し、両国でメニューフェアを開催しました。タイでは現地シェフに県産食材を紹介するワークショップ、ベトナムでは推奨店拡大に向けた懇談会をそれぞれ開催しました。
- ・「飛騨牛海外推奨店」と連携し、マレーシアでは現地大手販売店2店舗で販売フェアを開催するとともに、米国ではメニューフェアを実施し、現地消費者に飛騨牛の魅力を発信しました。

##### <県産農畜水産物の認知度向上>

- ・新たな輸出先国・地域向けの新規品目など、認知度が十分でない県産食材について、流通ルートの構築や認知度向上を図る取組を進めています。
- ・令和7年度は、2024年に解禁された豪州向け岐阜鮎(加工品)について、現地シェフ等の実需者向け懇談会の開催やレシピを作成したほか、在豪州日本国大使館の公邸料理人等に紹介しました。
- ・フランス・パリの精肉学校において、飛騨牛の魅力やカット技術を伝える講義を行い、高級部位に加え、ももなど輸出量の少ない部位の特徴についても紹介しました。



地域商社と連携した商談会  
(R7.11 香港)



岐阜鮎海外推奨店の認定  
(R7.11 ベトナム)



パリ精肉学校飛騨牛講義  
(R7.10 フランス)

#### ○主要品目の輸出実績(推移)

単位:トン

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
飛騨牛	16.1	23.5	24.6	43.2	59.2	51.7	45.1	89.5	80.0	64.8	54.2
鮎	0.07	0.42	1.04	1.22	1.42	1.31	0.76	1.75	3.54	5.32	8.47
柿	21.5	47.2	43.6	53.1	48.5	51.9	21.1	21.7	38.7	34.7	17.2

県農産物流通課調べ

# 大都市圏での販売促進

## ○大都市圏での販売促進の取組

情報発信力の高い首都圏、関西圏、中京圏において、様々なチャンネルを利用し、飛騨牛や鮎など県産農畜水産物の効果的なPRやイベントを実施しており、ブランド力の更なる向上や販路の拡大につながっています。

近年は2025年大阪・関西万博を契機に、関西圏での県産農畜水産物のブランド力向上や販路拡大を図るため、関西圏の飲食店や量販店等での各種プロモーション活動を展開してきました。

また、首都圏においても、県産ブランドの認知度向上に向けたレストランと連携したメニューフェア等を継続展開しています。

### 【R7年度の取組】

#### 1 県産食材を利用したメニューフェア

##### 【岐阜グルメフェア『飛騨牛&鮎2025』】

- ・首都圏と関西圏において、本県トップブランドの飛騨牛や鮎を使用したメニューを提供するグルメフェアを同時開催しました。

◎飛騨牛メニュー提供店舗：首都圏 25、関西圏 21

◎鮎メニュー提供店舗：首都圏 17、関西圏 13



#### 2 産地見学会

- ・首都圏、関西圏のシェフ等10名を県内へ招き、生産者との交流を通じ県産食材の魅力を伝える見学会を開催しました。(R7.10月)

#### 3 オンライン商談会

- ・県内生産者9名が参加し、首都圏、関西圏の飲食店のシェフ・バイヤー等へ、県産食材への理解を深めてもらい、取引につなげるため、オンライン商談会を開催しました(R7.11月)。

#### 4 県産農畜水産物の販売フェア

- ・大阪中心部の百貨店において、飛騨牛、鮎、えだまめ、ほうれんそう、いちご等のPR販売を3回実施しました(R7.9月、R8.1,2月)。

#### 5 社員食堂でのメニューフェア

- ・フードサービス事業を展開する企業と連携し、関西、東海地区の社員食堂にて、県産農産物を使用したオリジナルメニューの提供を3回実施しました(R7.9,12月、R8.3月)。



産地見学会



県産農畜水産物販売フェア



社員食堂メニューフェア

## ○地理的表示保護制度（GI）の活用促進

GIの活用を促進し、全国GIサポートデスク（運営：（一社）食品需給研究センター）と連携して対象品目の洗い出し及び登録を目指す団体の登録支援を行っています。

- <登録状況>
- ・奥飛騨山之村寒干し大根（すずしろグループ） 登録日：平成29年11月10日
  - ・堂上蜂屋柿（美濃加茂市堂上蜂屋柿振興会） 登録日：平成29年12月15日
  - ・飛騨牛（飛騨牛銘柄推進協議会） 登録日：令和5年1月31日

# 地 産 地 消

## ○地産地消県民運動の推進

農産物の生産から、加工、販売及び消費までのフードチェーンに関わる県民各々の交流を促し、県民運動として地産地消活動を展開することを目的に、令和3年8月に「地産地消ぎふ応援団」登録制度を創設し登録を推進しています。また、専用WEBサイトやSNSによる情報発信やPRを目的とした販売フェア、朝市・直売所の活性化を目的としたデジタルスタンプラリーを開催するなど、消費者ニーズを把握するとともに地産地消を推進しています。



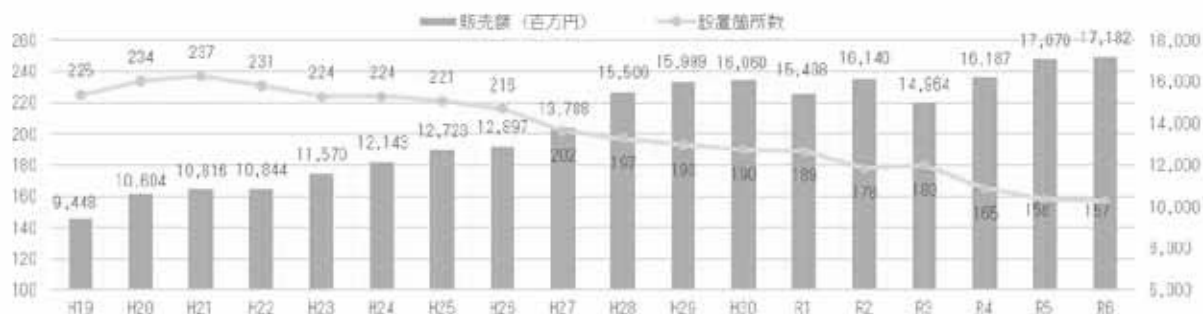
「地産地消ぎふ応援団」登録者数 3,104 名・団体 (R7.12 末時点)

内訳：消費者 2,174、販売業者 699、生産者 189、その他 42

## ○農産物直売所は 157 箇所

新鮮で安全、安心な農産物を求める消費者ニーズの高まりとともに、県内各地域で開設されています。近年は、出荷者の高齢化や減少等の影響から設置数は減少傾向にあり、令和7年3月末現在 157 箇所となっています。一方、大型直売所の来客数増加やコロナ禍を経て来店者数が回復しており、販売額は令和3年度以降、増加傾向にあります。

朝市・直売所等の設置数と販売額の推移



県農産物流通課調べ

注1) 調査対象：①有人販売、②定期開催、③複数の地元農家が出荷し開催している直売所

## ○学校給食における県産農産物の使用状況

学校給食における県産農産物の使用割合は、米は 100% (岐阜県の銘柄米であるハツシモ、コシヒカリ等)、小麦粉は 50%以上となっています。

さらに使用を促進するため、県と市町村、JAグループが連携し、食材購入費の一部を助成する取組を行っています。令和6年度の使用割合は、品目ベースで 28.1%、野菜及び果実の重量ベースで 20.2%となりました。

### 県産農産物の使用割合 (%) (品目ベース)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
岐阜県	31.0	29.1	31.3	27.2	31.8	33.8	33.8	27.2	28.8	29.1	28.7	28.1
全国平均	25.8	26.9	26.9	25.8	26.4	26.0	26.0	—	—	—	—	—

県教育委員会体育健康課調べ

注2) 全国平均：文部科学省「学校給食における地場産物及び国産食材の使用割合」の食材ベースの調査 (令和2年度終了)

### 県内産の野菜及び果実の使用割合 (%) (重量ベース)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
県内産	23.7	23.0	22.9	21.4	22.9	22.0	23.2	21.6	22.1	20.6	21.1	20.2

県農産物流通課調べ

# 食 農 教 育

平成 18 年 4 月 1 日に岐阜県食育基本条例が施行され、現在は「第 4 次岐阜県食育推進基本計画（計画期間：令和 6 年度～令和 11 年度）」のもと食農教育を推進しています。

## ○特定世代へのアプローチ

### < 幼児 >

県内の幼稚園・保育園、小学校を対象に、幼児・児童用調理器具の貸出しを行い、調理体験を通じた食農教育を推進しています。

### 【調理器具貸出実績】

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
団体数(団体)	9	9	10	10	9	1	2	4	5	6
回数(回)	10	11	13	15	12	1	2	5	8	10

県農産物流通課調べ

### < 小中学生・子育て世代 >

「地産地消ぎふ応援団」に登録のある子育て世代の親子を対象に、県内 5 カ所の直売所等で、農産物の管理や収穫、生産者等との交流などを通じ、県産農産物や地産地消を学ぶ食農教育を実施しました。（令和 7 年 12 月末時点実績：59 組 148 名参加）



農産物の収穫体験



生産者の講話

### < その他 >

幅広い世代を対象に、地産地消への理解を深め、県産農産物への意識を高めてもらうため、県庁 2 階食堂で県産農産物を使ったメニュー提供、食堂前物販スペースにて県アンテナショップによる県産農産物等の販売等を行う「地産地消メニューフェア」を実施しました。



メニューフェアの一例（主な県産食材：ハツシモ、奥美濃古地鶏、ミニトマト、パプリカ）

## ○食農教育の推進

市町村や民間団体等が実施する食と農への理解を深める農業体験や料理教室、食育セミナーの開催など地域の多様な食農教育活動を支援しています。

### 【地域実践活動の実績】

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
団体数(団体)	4	4	4	4	-	3	3	3	3	2	2
開催回数(回)	181	233	183	197	-	128	38	65	153	70	101
参加人数(人)	6,691	9,226	7,828	8,120	-	4,373	1,095	1,527	3,281	1,621	1,681

※H30 は農林水産省事業不採択のため実績なし 県農産物流通課調べ

# 6次産業化

## ○岐阜県地域資源活用・地域連携サポートセンターの設置

6次産業化とは、農林漁業者が自ら生産（第1次産業）した農林水産物を使って、加工（第2次産業）や販売（第3次産業）を一体的・主体的に行う取組のことで、付加価値の向上や流通マージンの削減等により、農林漁業者の所得向上につなげるため推進しています。

経営改善を目指して6次産業化等に取り組む農林漁業者を支援するため、岐阜県地域資源活用・地域連携サポートセンターを設置し、加工品製造やマーケティングなどの専門家（岐阜県地域プランナー）の派遣、商品開発のノウハウなどが学べる人材育成研修を実施しています。

### 【専門家派遣及び研修開催実績】

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
プランナー派遣件数	593	449	308	142	126	161	204	201
人材育成研修実施数	26	30	31	16	10	13	9	9

県農産物流通課調べ

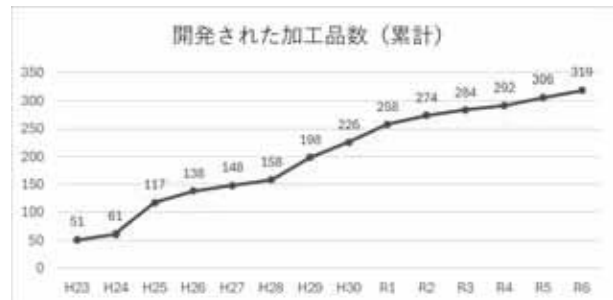
## ○6次産業化による新商品開発

農林漁業者が新商品の製造に必要な機械・設備等の整備を支援するとともに、商品の販路拡大を支援するため商談会を継続して開催しています。

この結果、県内の取組は着実に広がっており、平成20年度から令和6年度までに319品目の新たな加工品が開発されました。

### 【支援した商品例】

- ・かけわさび（郡上市）
- ・極熟宝月 もんぶらん（中津川市）
- ・梨ジュース（大垣市）
- ・エナジーバー（富加町）
- ・カキフライ（大野町）



県農産物流通課調べ

## ○総合化事業計画の認定

農林漁業者等が、①農林漁業経営の改善を図ることを目的に、②農林水産物等の生産及びその加工又は販売を一体的に行う事業活動であって、③農林水産物等の価値を高めることを目指すとする総合化事業を行うにあたり、「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」（平成22年法律第67号）に基づいて事業計画を作成し農林水産大臣の認定を受けることができます。制度が始まった平成23年から令和6年度までの県内認定件数は103件（累計）です。

### 【認定件数の推移】

年度	H23～25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計
認定件数	57	3	7	11	6	6	3	2	3	3	2	0	103

県農産物流通課調べ

## ○岐阜県情報発信拠点「ギフツプレミアム」の運営

農林漁業者が6次産業化商品のテストマーケティングを行い、商品のブラッシュアップや新商品開発につなげる場として、名古屋市栄地区の「オアシス21」内にアンテナショップを設置しています。

### 【概要】

- ・名称：ギフツプレミアム
- ・設置：平成26年8月1日  
平成31年4月27日リニューアルオープン
- ・規模：約150㎡
- ・内容：6次産業化商品、農産物、加工食品及び地場産品など約2,500品目の販売に加え観光案内と移住相談の機能を集約し、ぎふの魅力を総合的に発信。



# 農産物流通

## ○卸売市場の取扱金額は768億42百万円

令和6年度の県内卸売市場の取扱金額は、青果物が499億円、水産物が98億円、食肉が155億円、花き・その他が15億円で、合計768億円（前年比96%）となっています。（中央卸売市場及び地方卸売市場の計。）

### 県内卸売市場取扱金額の推移

（単位：億円）

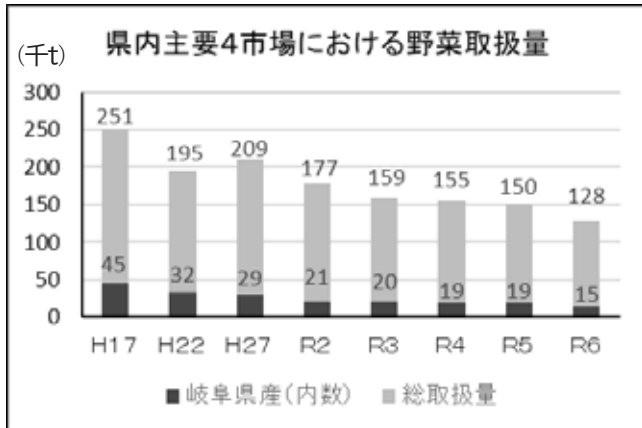
年 度	H19	H24	H29	R4	R5	R6
青果物	650.94	565.46	591.69	523.9	529.24	499.27
水産物	290.59	193.07	147.88	103.91	103.55	98.32
食 肉	143.53	126.40	154.43	154.46	150.20	154.55
花き・その他	31.75	27.13	21.24	19.60	18.36	16.28
合 計	1,116.81	912.06	915.24	801.87	801.35	768.42

県農産物流通課調べ

## ○卸売市場における県内産青果物の市場占有率は、野菜 11.5%、果実 6.6%

令和6年の県内主要4市場（岐阜市中央卸売市場、大垣市・高山市・可児市の地方卸売市場）の取扱量は、野菜が12万8千t、果実が2万7千tとなっています。

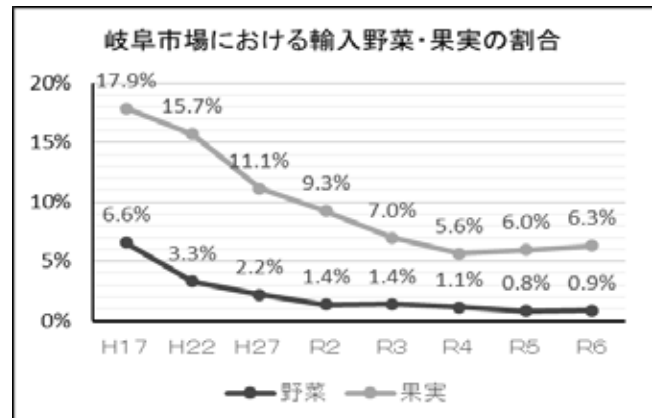
そのうち、岐阜県産の取扱量は、野菜が1万5千t（市場占有率11.5%）、果実が1千700t（市場占有率6.6%）で、岐阜県産の市場占有率は野菜・果実ともやや減少で推移しています。



## ○卸売市場における輸入青果物の割合

令和6年の岐阜市中央卸売市場における輸入青果物の取扱割合は、野菜、果実ともほぼ横ばい傾向にあります。

（野菜0.9%、果実6.3%）



県農産物流通課調べ

## ○青果物等の市場群別共販額

### 県内青果物等の市場群別共販額の推移

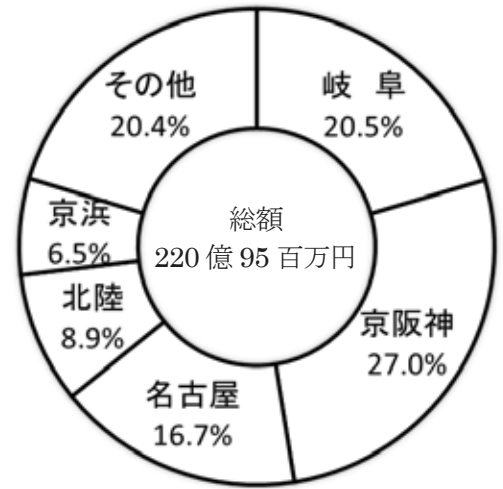
単位：百万円

市場群	H27	R2	R4	R5	R6
岐阜	5,644	4,500	4,219	4,622	4,523
京阪神	5,756	5,157	5,289	5,833	5,964
名古屋	3,699	3,754	3,909	3,475	3,698
北陸	1,798	1,623	1,715	1,716	1,966
京浜	920	710	1,046	1,486	1,444
その他	1,964	2,517	3,037	3,400	4,499
総額	19,781	18,261	19,216	20,533	22,095

(四捨五入により合計が一致しません)

県農産物流通課調べ

### 同左の市場群別出荷割合（令和6年度）



## ○青果物等銘柄品共販の推移

本県の強みである「平坦地から高冷地までの変化に富んだ自然条件」と「大消費地に近い流通条件」を生かし、JA等を通じて県内外の市場へ出荷されています。

### 岐阜県青果物等銘柄共販数量及び金額の推移

単位：t、千本、百万円

年 度		H27		R2		R4		R5		R6	
区分	項 目	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
野菜	トマト	19,618	6,218	19,332	6,173	20,701	7,361	22,151	8,721	22,611	10,018
	ほうれんそう	8,040	4,952	7,370	4,660	6,511	4,159	6,793	4,430	5,925	4,266
	いちご	1,244	1,367	1,221	1,531	1,116	1,498	1,008	1,443	1,065	1,624
	だいこん	6,758	786	5,313	627	5,373	802	5,630	741	5,414	772
	えだまめ	934	741	626	516	612	491	557	485	503	470
	きゅうり	2,646	736	2,056	597	2,035	599	1,862	602	1,727	668
	にんじん	2,539	367	3,157	414	3,040	357	2,827	336	2,452	487
	なす	585	182	359	125	359	105	358	114	310	111
	たまねぎ	445	38	353	18	233	24	183	12	218	15
	さといも	341	93	276	51	257	46	161	32	99	26
メロン	34	17	38	20	35	20	29	18	22	15	
果樹	かき	4,176	1,015	2,407	742	3,407	927	2,048	718	1,582	545
	なし	138	44	34	16	67	25	43	20	31	15
	もも	113	54	91	45	123	59	96	65	110	69
	みかん	230	37	262	29	156	27	146	23	109	24
	くり	53	34	28	21	19	21	29	33	12	14
	りんご	58	14	43	9	123	29	51	12	63	13
特産	荒茶	236	232	161	124	145	104	166	128	112	90
花き	花き	3,322	334	1,774	189	1,747	230	1,806	238	1,637	220
合 計		—	17,261	—	15,907	—	16,884	—	18,171	—	19,462

県農産物流通課調べ